

活動レポート

道東技術士委員会

文責：道東技術士委員会幹事長 上野博司

第 67 回総会・講演会を開催

1. はじめに

道東技術士委員会では例年、5月または6月に釧路、12月に帯広で総会を開催しています。

今回の活動レポートは、5月に開催した第67回総会と講演会について報告いたします。

2. 第67回総会

○日時：平成25年5月17日(金)午後6時～

○場所：釧路プリンスホテル

○出席者：35名(技術士27名、技術士補8名)

講演会に続いて、平成25年度第1回総会を開催しました。

冒頭、工藤代表は、講演にあったような10mの津波が発生した場合、釧路地区では12万人が被災するという報告もあり、安心して暮らせる釧路市になるよう皆さんと努力していきたいと挨拶しました。



写真-1 工藤代表

①方技術士会の名称変更等について

北海道本部の組織改編について、以下の事項を皆さんに説明しました。

- ・地方技術士会は新設される地方委員会の下部組織に位置づけられる。
- ・新設される地方委員会は、各地方技術士会の代表により運営される。
- ・地方技術士会の名称の変更が必要であり、当会からは、以前使用していた「技術士協議会」を要望している。

②員の変更について

転勤等により、他の地域に転出された役員に変わり、以下の方を新役員に選任しました。

副代表：小松田 千秋(釧路市役所)

幹事：清水 慎吾(株)郡土木コンサルタント

幹事：折戸 聖(株)北開水工コンサルタント

以上、敬称略

役職	氏名	所属
代表	工藤 覚	太平洋総合コンサルト(株)
副代表	紅葉 克也	(株)紅葉流域設計
副代表	小松田千秋	釧路市役所
幹事長	上野 博司	平田技術コンサルタント(株)
幹事	明石 憲宗	(株)ズコーシャ
幹事	石川 健司	北王コンサルタント(株)
幹事	梶 光貴	釧路市役所
幹事	倉田亜以土	(有)バイトソン
幹事	清水 慎吾	(株)郡土木コンサルタント
幹事	定塚 徹	環境コンサルタント(株)
幹事	折戸 聖	(株)北開水工コンサルタント
幹事	三好 章仁	(株)土木技術コンサルタント
会計監事	市田 寛	(有)アースプラン

③収支報告

幹事長の上野技術士より、道東技術士委員会の平成24年度決算と平成25年度予算について説明があり、決算については市田会計監事の監査報告を受け、皆さんの拍手により承認されました。

3. 講演会

第67回総会にあわせ、CPD(継続教育)として講演会を行いました。

○演題：太平洋東部の大地震津波時における道路の防災

○講師：小樽開発建設部 技術管理官

青沼克貴 技術士

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、釧路地区でも津波被害が発生しました。

講師の青沼技術士は、震災発生時に釧路開発建設部 釧路道路事務所長の職務にあり、国道の被災状況や道路の復旧対応について講演していただきました。また、青沼氏は、防災技術センター副所長の経歴もあり、その経験を基に道路管理の基本についても説明していただきました。



写真-2 講師の青沼技術士

(1)道路管理の責務

道路法では、道路管理者の責務について以下のように規定されている。

・責務

道路を常時良好な状態に保つように維持管理を行う。その管理に瑕疵があり他人に損害を与えた場合は国家賠償法の規定により賠償の責務を負う。



・道路管理者の義務

道路機能の確保のため維持修繕義務

他人に損害を与えた場合の賠償責務

一般に被害が及んだ場合、予見の可能性と結果回避義務を怠っていると過失が問われることになる。

このことから、パトロールの強化によるこまめな点検と現地把握、被災した場合は早急な通行止めによる被害の回避が重要である。

(2)釧路地区の津波被害

①釧路地区の被害状況

東日本大震災では、大きな被害が発生した東北地方が注目されたが、釧路地区も津波被害が発生した被災地である。

- ・津波による漁網や車両の流出
- ・全速力で沖へ避難しようとした漁船が上流へ戻され、幣舞橋の橋脚に衝突(橋桁が損傷)
- ・港の冠水
- ・貯木場の材木が釧路川に流出

②国道の規制状況

津波警報の発表に伴い、以下の路線で進入規制を行った。

- ・R38：釧路大橋、幣舞橋
浦幌町直別～釧路市大楽毛 39.0km
 - ・R44：旭アンダーパス
厚岸町尾幌～浜中町茶内 40.9km
 - ・R392：白糠町 R38 交点～白糠町相互 4.0km
- 上記のうち、R38 浦幌町直別は、釧路から向かうことが出来なかったため、帯広開発建設部で対応してもらった。

③旭アンダーパスの被災状況

釧路川の水位上昇に伴い、旭アンダーパスのボックスカルバートが冠水したため、電気設備や排水ポ

ンプなどが損傷し、機能不全となった。

通行規制に向けての復旧作業は、3月12日に排水ポンプ8台を設置して開始し、3月13日に完了したが、流入水と共に流入した汚泥やゴミが大量に堆積し、除去作業は難航した。

(3) 今後の課題

今後の大津波に対応するための課題は、以下のようなのが考えられる。

- ・ 釧路道路事務所は浸水域にあり、災害対応の担手法と対応拠点の確保
- ・ 高台への避難駐車場の設置
- ・ 白糠町など鉄道に遮られた地域は、山側への避難道路の確保
- ・ 横断道や外環状道路の盛土高見直しによる津波対策



写真-3 講演会風景

4. 懇親会

講演会後は、当会幹事の梶技術士の乾杯の音頭で懇親会に入りました。

皆さん、近況について報告しあうなど、和やかに歓談しました。

懇親会では、平成24年度2次試験に合格され、晴れて技術士となられた2名の方に自己紹介をお願いしました。

平成24年度2次試験合格者

上杉 充((財)北海道道路管理技術センター)

安井 塔基(株)安井測量設計事務所)

以上、敬称略

会の最後は、当会副代表の紅葉技術士の万歳で締めました。



写真-4 紅葉技術士

5. おわりに

当会では今後とも、地域で活躍されている研究者や専門家をお招きして、講演会や現場見学会などを開催していきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願い致します。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご活躍をお祈りし、道東技術士委員会の活動レポートとさせていただきます。